

ト共ニ政府當局及船主ノ諒解ヲ求メテ

第一、ニハ我海員共同ノ福利擁護増進ノ爲メ

第二、ニハ我同胞ノ活路確保乃至開拓ノ爲メ

第三、ニハ帝國海運ノ基礎確立乃至擴張ノ爲メ至誠一

貫主義ノ下ニ協力一致以テ我海員ノ地位ヲ向上シ

生活ヲ安定ナラシメンコトヲ期ス

本組合ハ(1)組合員各自ノ品性ヲ向上セシメ (2)團體的

精神ヲ助長セシメ (3)職業ニ對スル自尊心及責任觀

念ヲ涵養シ (4)技術ヲ鍛練シ (5)船内秩序ヲ重シ

健康ヲ保持シ勞働能率ヲ増進セシメ苟モ輕舉妄動ヲ

慎ミ以テ海員トシテノ内容充實ヲ期ス

本組合ハ權威アル團體的節制ノ下ニ組合員ノ結束ヲ鞏

固ニシ政府當局及船主トノ聯絡ヲ保チ海員ニ關スル法

律及勞働條件ノ改善並ニ雇傭契約履行ノ監視其組合員

共同ノ福利ヲ擁護増進シ其地位及生活ノ向上乃至安定

ヲ期スルニ必要ナル事項ノ研究、主張、接衝、爭議仲

裁ノ局ニ當リ毫モ遺憾ナカラシメンコトヲ期ス

本組合ハ「ゼノア」ニ開催セラレタル國際海員會議ニ於

テ採擇セラレタル協約案ニ基キ完全ナル無料職業紹介

所ノ成立ヲ期ス

受有スル船員ヲ以テ組織ス

第四條 本組合ハ甲板部、機關部、司厨部ノ三部トシ

各部ニ部長ヲ置キ當該事務ヲ分擔處理セシム

第三章 組合ノ目的

第五條 本組合ハ左記事業ヲ行フヲ以テ目的トス

一、組合員品性ノ向上、團體的精神及職業ニ對スル

自尊心並ニ責任觀念ノ涵養、組合員共同福利ノ擁

護及増進ニ關スル事項

二、雇傭契約履行ノ監視、勞働條件及船内施設ノ改

善法律上及社會上ニ於ケル海員ノ地位ノ向上及生

活ノ安定促進ニ關スル事項

三、雇傭契約又ハ勞働條件其他組合ニ關スル爭議仲

裁ニ關スル事項

四、海員ノ無料職業紹介事務ニ關スル事項

五、機關雜誌又ハ新聞發行ニ關スル事項

六、購買組合設置ニ關スル事項

七、組合員ノ負傷、疾病、失業、養老ニ關スル共濟

及海員寄宿舎、病院等ノ施設

第四章 組合員

第六條 本組合員ハ思想堅實、身體強健ナル者ニ限ル

八

本組合ハ組合員ノ負傷、疾病、失業、養老、死亡ニ關

スル互助共濟及海員寄宿舎、病院等ノ施設ノ實行ヲ期

ス

本組合ハ組合事業ノ經過及方針並ニ海員ニ關シ政府又

ハ社會ニ出現シタル事項精神上ノ修養其他有益ナル情

報機關トシテ雜誌又ハ新聞紙ノ發行ヲ期ス

## 日本海員組合規約

創立委員 田口源記

朗讀者 同 北野勇吉

第一章 名稱及位置

第一條 本組合ハ日本海員組合ト稱ス

第二條 本組合ハ本部ヲ神戸ニ支部ヲ横濱ニ置ク

本組合ノ業務發展上必要ト認メタルトキハ評議員會

ノ決議ニ依リ支部、出張所又ハ出張員ヲ重要地點ニ

置クコトヲ得

第二章 組合ノ組織

第三條 本組合ハ日本帝國政府ノ發行スル船員手帳ヲ

第七條 組合員ハ固ク本組合ノ趣旨綱領ヲ體シ苟モ本

組合ノ目的ニ反シ又ハ本組合ノ信用ヲ傷ケ若ハ本組

合ノ事業ヲ妨害スベカラズ

第八條 本組合ニ加盟セントスル者ハ組合員二名ノ紹

介ニ依リ別ニ定ムル申込用紙ニ記名捺印シ加盟金壹

圓ヲ添ヘ本組合ニ提出スルモノトス

第九條 本組合ハ前條ノ申込ヲ承諾シタルトキハ直チ

ニ本組合員手帳及徽章ヲ本人ニ交付ス

但シ之ニ要スル實費ハ別ニ徴收スルモノトス

第十條 組合員ハ組合費トシテ金壹圓也ヲ毎月末マデ

ニ本組合ニ納付スベキモノトス

前項ノ組合費ハ休職中ノ者ハ乗船マデ納付ヲ延期ス

ルコトヲ得但シ事情ニ依リ役員會ノ決議ヲ以テ之ヲ

免除スルコトアルベシ 遠洋航海三箇月ヲ超過スル場

合ハ其ノ月數ノ二分ノ一以上ニ相當スル組合費ヲ前

納スベキモノトス

第十一條 組合員ニ關シ雇傭契約ノ履行其他ニ付不利

益ナル事件發生シタルトキハ明細ニ其事情ヲ具シ直

チニ本組合ニ報告スベキモノトス

第十二條 組合員正當ノ事由ナクシテ前條ノ組合費納

九